

## 1-2-13-7 田中大秀木像（たなかおおひでもくぞう）

<市指定彫刻>

<所有者> 荏名神社

<所在地> 江名子町 2,349 番地

<時代> 天保 10 年（1839）

<員数> 1 軀 肖像（1 軀）高さ 45 cm、膝幅 36 cm

本像は荏野文庫土蔵（県指定史跡）内 1 階奥に祀られている。背面には「荏名神社再興齋主六十三翁田中大秀之像天保十年己亥五月 京都 田中松慶刻」とある。京都の仏師「田中松慶」により製作されたもので、天保 10 年（1839）春長女千重子を連れ、関西の旅に出た大秀翁は、京都で仏師田中小兵衛松慶に自像の彫刻を依頼した。できあがった木像は、同年 8 月 26 日高山に届けられた。頭巾の下には、はげた頭の毛の筋まで描かれている。

製作年代、製作者が明らかになっており、当時の大秀の姿を知る上で、貴重な資料である。

リーフレットより